

令和 8 年度

一般会計補正予算
(第 3 号)

実施計画書

実 施 計 画 書（補正予算）

事業名		関宮地域局周辺整備事業費					枝番		単位事業名		
まちづくり計画	政策	政策2	つながりが織りなす安全安心で笑顔があふれるまち						ページ番号		
	主要施策	施策2_2	ライフデザインを描き充実した暮らしの実現								
	政策の数値目標	暮らしの中で異なる世代の人とつながり、付き合いがある人の割合 68%									
	主要施策のKPI	将来ふるさとに住みたいと感じた人の割合 12%									
	個別計画	養父市関宮地区小さな拠点整備基本計画									
	SDGs	3	すべての人に健康と福祉を				11	住み続けられるまちづくりを			
実施主体		養父市				担当課	市民生活部 関宮小さな拠点整備推進室				
会計区分		一般会計							当初補正区分	補正予算	
予算費目		款	2	総務費		項	1	総務管理費		目	8 地域振興費
根拠法令等											
事業目的	対象	市民									
	背景と目的	人口減少及び高齢化の進展が顕著で活力の低下が著しい関宮地域の中心地に、賑わいを取り戻し、人口が少ない中でも誰もが健康で安心して生き生きと暮らせる持続可能な地域を創生するため、このエリアに隣接する土地・建物を活用し、医療、福祉、子育て、スポーツ、交流、商業、公共交通及び防災等、市民活動の核となる施設等を整備し、「まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略」の実践として次世代の人口定住の砦とする。									
事業内容	事業概要又は補正の内容	関宮小さな拠点（仮称）の整備と本施設を中心とした周辺施設・環境の整備を実施する計画の中で、2期工事の方針がまとまったこと、物価高騰等の影響や交通配送（路線バス等の安全運行）に係る改修等により増額する。 また、国に申請していた「地域未来交付金」が採択されたことにより、財源補正を行う。 （歳入）・地域未来交付金（交付率1/2）126,284千円 ・公共施設等整備基金繰入金（今回補正により272,625千円に修正）△8,138千円 （歳出）・関宮小さな拠点（仮称）整備事業 本体工事（2期工事）86,753千円 敷地内通路舗装改修4,865千円 NW機器導入工事5,665千円 ・関宮コムスポ解体工事20,863千円 計118,146千円									
	年次計画と財源	既決予算額（千円）			補正予算額（千円）			予算総額(千円)			
事業費		280,763			118,146			398,909			
財源内訳	一般財源	0			0			0			
	国支出金	0			126,284			126,284			
	県支出金	0			0			0			
	地方債	0			0			0			
	その他	280,763			△ 8,138			272,625			

実施計画書（補正予算）

事業名		担い手総合支援事業費				枝番		単位事業名				
まちづくり計画	政策	政策4	地域資源の活用や創意工夫により働く人がキラリと光る挑戦しやすいまち					ページ番号				
	主要施策	施策4_1	力強い農業経営の実現									
	政策の数値目標	誇りややりがい、次世代につなぐ意識をもって働いている人の割合 70.9%、48.3%										
	主要施策のKPI	認定（青年）農業者等数 60人										
	個別計画											
	SDGs	8	働きがいも経済成長も				11	住み続けられるまちづくりを				
実施主体		養父市				担当課		産業環境部 農林振興課				
会計区分		一般会計							当初補正区分	補正予算		
予算費目		款	6	農林水産業費		項	1	農業費		目	3	農業振興費
根拠法令等												
事業目的	対象	認定農業者及び販売農家（前年の販売金額が50万円以上の農業者） ※農水省基準では「販売農家」＝「経営耕地面積30a以上又は農産物販売金額が年間50万円以上の農家」										
	背景と目的	中東情勢等の緊迫化に伴う原油価格の高騰や円安による輸入コストの増加などの影響により、農業用ビニールなどナフサ由来の被覆資材や肥料・飼料等を中心に農業生産資材コストが増加していることに伴い、経営に著しく影響を受けている市内農業者に対し、「農業生産資材価格高騰対策支援補助金」を交付することにより、農業経営への影響を緩和し、経営の継続と安定化に資することを目的とする。										
事業内容		○事業概要 本補助金は農業者が負担する農業生産資材の物価上昇分を支援することが目的であるため、前年の決算書（個人の場合はR7所得税確定申告決算書）の「農業生産資材費（種苗費〔素畜費〕・肥料費〔飼料費〕・農薬衛生費・諸材料費・農具費）の合計」に物価上昇率を乗じて算定する。物価上昇率は「農業物価統計調査」を参考にし、平均物価上昇率を「6%」とする。よって、支援補助金の算定は下記のとおりとする。 支援補助金＝前年の決算書の農業生産資材費の合計×0.06 ○補助金上限額 補助金上限額は、経営形態別の全国的な農業生産資材費合計に平均物価上昇率を乗じて算定する。全国的な農業生産資材費合計は「農業経営統計調査」の「営農類型別経営統計」を参考にし、下記のとおりとする。 なお、販売農家の営農類型は「個人経営体（近畿）」を採用する。 販売農家 1,201千円（種苗費175＋肥料費379＋農薬衛生費294＋諸材料費234＋農具費119） 認定農業者 2,991千円（種苗費434＋肥料費828＋農薬衛生費842＋諸材料費698＋農具費189） よって、補助金上限額の算定は下記のとおりとする。 販売農家 1,201千円×0.06＝72.06千円≒補助金上限額70千円 認定農業者 2,991千円×0.06＝179.46千円≒補助金上限額170千円 ○予算計上 対象者は前年の販売金額50万円以上の農業者約300人（うち認定農業者52人）を見込んでおり、この人数に対応できるよう予算計上額は下記のとおりとする。ただし、認定農業者の割合が低く、かつ、補助金上限に達しない申請者も想定されるため、予算計上時の農業生産資材費合計は個人経営体（近畿）平均金額となる1,201千円を採用する。 補助金：1,201千円×0.06×300人≒21,600千円 事務費：392千円（郵送料100＋需用費100＋会計年度192） 合計：21,992千円										
年次計画と財源		既決予算額（千円）				補正予算額（千円）				予算総額（千円）		
事業費		2,095				21,992				24,087		
財源内訳	一般財源	153				13,736				13,889		
	国支出金	0				8,256				8,256		
	県支出金	1,942				0				1,942		
	地方債	0				0				0		
	その他	0				0				0		

実 施 計 画 書（補正予算）

事業名		林道維持管理費				枝番		単位事業名				
まちづくり計画	政策	政策5	ふるさとの原風景と快適な都市基盤が調和した住みやすいまち					ページ番号				
	主要施策	施策5_3	道路管理の徹底									
	政策の数値目標	公共交通や生活基盤に安心感を持っている人の割合 65.0%										
	主要施策のKPI	インフラ施設の維持補修の実施箇所 900か所/年										
	個別計画											
	SDGs	11	住み続けられるまちづくりを									
実施主体		養父市			担当課	まち整備部 建設課						
会計区分		一般会計							当初補正区分	補正予算		
予算費目		款	6	農林水産業費		項	2	林業費		目	4	林道事業費
根拠法令等												
事業目的	対象	市内林道を利用する関係者										
	背景と目的	本事業は市が管理する林道の維持管理を行い、安全・安心な道路交通の確保を目的とする。										
事業内容	事業概要又は補正の内容	令和7年度冬期間の豪雪の影響により、市管理林道において崩土や倒木等が発生し、緊急対応が必要となったことから事業費を増額するもの 市管理林道22路線の維持管理費 9,500千円（当初3,500千円、今回補正6,000千円）舗装修繕 ○林道修繕料の執行済 1,925千円（3路線、6箇所） ○林道修繕料の執行予定 1,575千円（4路線、4箇所） ○林道修繕料の補正要求分 5,000千円（9路線、10箇所） ○林道工事請負費の補正要求分 1,000千円（1路線、3箇所（パッチング））										
年次計画と財源		既決予算額（千円）			補正予算額（千円）			予算総額(千円)				
事業費		35,850			6,000			41,850				
財源内訳	一般財源	10,410			6,000			16,410				
	国支出金	0			0			0				
	県支出金	12,900			0			12,900				
	地方債	0			0			0				
	その他	12,540			0			12,540				

実 施 計 画 書（補正予算）

事業名		商工振興事業費		枝番	4	単位事業名	養父市事業者省エネ空調導入支援補助金事業				
まちづくり計画	政策	政策4	地域資源の活用や創意工夫により働く人がキラリと光る挑戦しやすいまち				ページ番号				
	主要施策	施策4_5	商工振興と雇用創出の推進								
	政策の数値目標	誇りややりがい、次世代につなぐ意識をもって働いている人の割合 70.9%、48.3%									
	主要施策のKPI	働きがいを感じる人の割合 10%増									
	個別計画										
	SDGs	8	働きがいも経済成長も								
実施主体		養父市		担当課	産業環境部 商工観光課						
会計区分		一般会計					当初補正区分	補正予算			
予算費目		款	7	商工費		項	1	商工費	目	2	商工振興費
根拠法令等											
事業目的	対象	市内中小企業									
	背景と目的	エネルギー価格・物価高騰で費用負担が増す市内中小企業を対象に省エネ空調の導入を支援することで、初期投資経費の軽減と運転コスト削減、従業員の労働環境改善を通じて事業の継続・成長を後押しする。									
事業内容	事業概要又は補正の内容	(補助対象者) 市内に本店、主たる事業所を構える中小企業 (補助対象事業) 省エネ設備の要件を満たす空調機器(冷暖房を目的とするもの)を導入する事業(業務目的に限る。) (補助対象経費) ・業務のために導入する空調機器(冷暖房)の本体、附属機器及び設置に要する費用 ・事業費が100万円以上であること。 (補助率及び補助金額) ①補助率：補助対象経費の1/2以内 ②補助金額：補助上限200万円(1,000円未満切り捨て) (補助対象期間) 令和8年4月1日～令和9年2月28日									
年次計画と財源		既決予算額 (千円)		補正予算額 (千円)		予算総額(千円)					
事業費		0		20,000		20,000					
財源内訳	一般財源	0		12,492		12,492					
	国支出金	0		7,508		7,508					
	県支出金	0		0		0					
	地方債	0		0		0					
	その他	0		0		0					

実 施 計 画 書（補正予算）

事業名		河川維持事業費				枝番		単位事業名				
まちづくり計画	政策	政策5	ふるさとの原風景と快適な都市基盤が調和した住みやすいまち					ページ番号				
	主要施策	施策5_7	その他（災害に強いまちづくりの推進）									
	政策の数値目標	公共交通や生活基盤に安心感を持っている人の割合 65.0%										
	主要施策のKPI	インフラ施設の維持補修の実施箇所 900か所/年										
	個別計画											
	SDGs	11	住み続けられるまちづくりを									
実施主体		養父市			担当課	まち整備部 建設課						
会計区分		一般会計							当初補正区分	補正予算		
予算費目		款	8	土木費		項	3	河川費		目	2	河川維持費
根拠法令等												
事業目的	対象	河川水位上昇により浸水被害が発生するおそれのある地域に住む市民										
	背景と目的	本事業は市が管理する普通河川の維持管理を行い、災害に強いまちづくりに寄与することを目的とする。										
事業内容	事業概要又は補正の内容	令和7年度冬期間の豪雪の影響により、市管理河川において倒木被害が複数発生し、緊急対応が必要となったことから事業費を増額するもの 河川維持事業費のうち、普通河川維持事業 10,000千円（当初5,000千円、今回補正5,000千円） ○河川修繕料の執行済 3,951千円（7河川） ○河川修繕料の執行予定 1,049千円（2河川） ○河川修繕料の補正要求分 5,000千円（9河川）										
年次計画と財源		既決予算額（千円）			補正予算額（千円）			予算総額(千円)				
事業費		51,782			5,000			56,782				
財源内訳	一般財源	8,000			5,000			13,000				
	国支出金	0			0			0				
	県支出金	0			0			0				
	地方債	20,000			0			20,000				
	その他	23,782			0			23,782				